

# 2022年度 第1回 細胞検査士会都道府県代表者会議 会議録

日時：日時：2022年6月10日(金) 14時50分～15時50分

場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 2階 若葉

参加形式：現地+WEB

参加者：47名中（現地参加：2名、WEB参加：40名、代理出席：2名、欠席：5名）

<出席>北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県(代)、茨城県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県(代)、富山県、石川県、福井県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 ※(代)：代理出席  
<欠席>栃木県、静岡県、岐阜県、兵庫県、佐賀県

## 阿部 英二（都道府県代表者委員長）現地参加

コロナ禍に於いて、ZOOMを含めて御参加頂き感謝申し上げます。

本会の参加については、47都道府県中、欠席5名、あとはWEB参加あるいは現地参加となっている。

## 1、細胞検査士会 会長挨拶

阿部 仁（会長）

本日はお忙しい中、細胞検査士会都道府県代表者会議に現地参加およびWEB参加頂き感謝申し上げます。コロナ禍のため、このような開催形式となったことについて、御了承頂きたい。

## 2、報告事項

### 1) 会長・副会長報告

阿部 仁 会長

・日本臨床細胞学会が主催の主な行事については、第82回細胞検査士教育セミナーは坪井病院原田実施委員長のもと2022年8月22日から9月5日までWeb開催予定、第84回細胞検査士ワークショップは国立癌研究センター中央病院の澁木実施委員長のもと帝京大学板橋キャンパスにて、2022年10月1日～2日に現地鏡検実習とWEB講義を行う。講義についてはWEB配信予定のため講義のみの受講の方はWEBで参加可能となる予定である。第85回細胞検査士ワークショップについては現地開催予定で現在検討中のため、決定次第、HPで案内させて頂く。第131回細胞検査士養成講習会は、残念であるが今年度もコロナ感染対策上、開催が不可能との判断となり開催中止となった。これで3年続けての中

止となる。顕微鏡を使用した実技実習が滞っており、今後の感染状況により細胞学会教育委員会とも相談しながら徐々に実技講習を行っていきたいと考えているので皆様の御協力をお願い申し上げます。

- 今後の日本臨床細胞学会開催予定については、第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会は宮城仙台サンプラザホテル、ホールメルパーク仙台、ホテル仙台ガーデンパレスにて伊藤会長のもと 2022 年 11 月 5 日（土）から 6 日（日）に開催される。第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会は愛知名古屋国際会議場にて藤井会長のもと 2023 年 6 月 9 日（金）から 11 日（日）に開催予定。第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会は福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡にて横山会長のもと 2023 年 11 月 4 日（土）から 5 日（日）に開催予定。第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会は大阪国際会議場にて森井会長のもと 2024 年 6 月 7 日（金）から 9 日（日）に開催予定。また、第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会は 2024 年 11 月 16 日～17 日、進会長のもと幕張メッセにて開催が予定されている。
- 2022 年第 55 回細胞検査士資格認定試験について、1 次試験は 2022 年 10 月 29 日（土）大阪府 CIVI 研修センター新大阪東、および新大阪丸ビル別館にて実施予定。2 次試験については、2022 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）に、愛知県名古屋市のウインク愛知にて実施予定である。今回、2 次試験が愛知県となっているので、ご注意願いたい。また、1 次試験、2 次試験ともに早めの宿泊手配が必要と思われるため、受験予定者には周知をお願いしたい。
- CT IAC 資格認定試験については、昨年、今年中止となっているが 2023 年 6 月 24 日（土）東京 AP 浜松にて実施予定となっている。
- 最後に、今年度は 2023 年・2024 年度の細胞検査士役員選挙の年となる。都道府県代表者の皆様方には御協力をお願いすると思うが、どうぞ御協力をお願い申し上げます。

渋木 康雄 副会長

特に追加等はないが、代表者の皆様にはいつも御協力を頂き感謝申し上げます。各地域の皆様からの声が検査士会運営には非常に大事であるため、今後とも御協力をお願い申し上げます。

山城 篤 副会長

特に追加等はないが、ぜひ各都道府県にて、WEB 参加での研修会等を推奨して頂きたい。宜しくお願い申し上げます。

## 2) 委員会報告

総務委員会（委員長：青木裕志）

- 事業報告、決算書の作成・管理、事業計画、予算書の作成・管理、総会議案書の作成・管理を行っている。各委員会からの情報伝達および業務調整等、その他行っている。

庶務委員会（委員長：棚田 諭）

・庶務委員会では、各役員会の役員、委員会に委嘱状を発送した。また、総会、役員会、委員長会議の開催・運営を行った。次に役員会、各種会議の議事録作成・保管、公印の使用および管理、資料の保管を行っている。

その他、慶弔業務も行った。講師等の委嘱状の発行も行った。

規約委員会（委員長：平田 哲士）

・規約委員会は様々な規約の整合性の確認および各委員会が提出する規則に関する確認を行っている。現在変更および成立した規則類はHPに掲載している。会員専用ページよりログインして頂いて確認することができる。現在パスワードが jsc2020 になっている。年度が変わると最後の部分のみ変更になる可能性があるが jsc はだいたいいつも同じであるので規則類の確認を会員の皆様はぜひ宜しくお願い申し上げる。規則類には、細胞学会として細胞検査士会のきまりを決めた規則、細胞検査士会内部で細胞検査士会のきまりを決めた規則、細胞検査士会の各委員会の中でのきまりを決めた各委員会の規則、この3つに分けて掲載している。御確認をお願いしたい。

また、役員会にて時期役員選挙実施要項が可決された。規約委員会のほうで詳細を検討した後、HPに掲載される予定である。代表者会議を通して、会長より選挙実施要項に乗っ取った選挙の実施に関し、皆様方をお願いがあるかと思うので、その際はぜひ宜しくお願い申し上げます。

渉外委員会（委員長：三宅 真司）

・いつも LOVE49 事業では、代表者の皆様にはお世話になっている。

今年度の LOVE49 活動は、すでに終えている県もあるが、多くの都道府県ではまだ継続して行われている。今後も各地域の感染状況に合わせて、なるべく年内に資料の配布を終えていただければと考える。宜しくお願い申し上げます。

・皆様に送っていただいた 2021 年度 LOVE49 活動のポスター写真を A3 に印刷して、今回の学会でポスター展示を行う。学会に現地参加の方は、ぜひポスター展示場にお立ちよりいただきたい。学会終了後には、これらの写真を細胞検査士会の HP 上（LOVE49 啓発活動）に掲載していただく予定であり、現地参加ができなかった方も、HP にて確認していただくことが可能である。また、来年春も同様に細胞学会でポスター展示を行う予定のため、今年度の活動状況も写真に撮って記録していただきたいので、その旨を LOVE49 キャンペーン担当者お伝え願いたい。宜しくお願い申し上げます。

情報委員会（委員長：横山 俊朗）

・メーリングリスト等の方で代表者の皆様にはお世話になっている。代表者の交代があれば、都道府県代表者委員会の阿部委員長のもとにある情報をもとに、メーリングリスト等の変更を行っている。毎月 1 日に都道府県代表者委員会の定期メールが届くかと思うが、

もし届かないようであれば、御連絡頂ければ確認する。メールサーバーのセキュリティーの差によりメーリングリストから削除される事態が時々起こるため、定期メールが届かないようであれば、御連絡を頂きたい。HP の左の下方に細胞検査士会支部というバナーがあり、各都道府県の日本地図のページがある。そちらから、各都道府県の掲載事項を確認頂き、更新が必要であれば御連絡を頂ければ最新情報に変更する。御確認の程、宜しくお願ひ申し上げます。

#### 学術委員会 （委員長：松本 慎二）

- ・細胞検査士会シンポジウム、セルフアセスメント、その他諸々の活動を行ってきた。今年度は昨年度実施出来なかった細胞検査士会のワークショップ、本年度より名称が鏡検実習研修会に変更になったが、初の試みであった WSI を取り入れた WEB オンデマンド配信にて実施した。200 名の募集定員を大幅に上回り、439 名の御参加を頂き非常に盛會に終わることができた。多くの参加を賜り御礼申し上げます。

#### 経理委員会 （委員長：仲村 武）

- ・2021 年度の収支決算が日本臨床細胞学会の理事会で無事に承認された。今回の總會にて皆様に承認を頂く。2020 年度はコロナ感染の影響で事業が行えなかったが、2021 年度は柿沼精度保障委員長、松本学術委員長の御尽力により精度保障の会および学術委員会の方で行うことができ、基本的には 600 万円近くの黒字となったので報告する。

#### 国際委員会 （委員長：加戸 伸明）

- ・事業報告とともに、今秋に開催予定の 21th International Congress of Cytology (ICC: 国際細胞学会) についてもアナウンス申し上げたい。まず事業報告として、日本・台湾・韓国 3 か国の細胞検査士によるジョイントミーティングについてご報告申し上げます。ご存知のように新型コロナウイルス感染の状況が各国で異なり、残念ながら今年の 3 月に予定していた台湾での現地開催を断念することになった。また、WEB を用いたバーチャルコンベンション方式にて開催することも検討したが、各国で用いている主要アプリケーションが異なることや、技術構築費用の負担に関して足並みが揃わないことが大きな障壁となり見送ることとなった。さらに、日本のみならず台湾・韓国の両国からも face-to-face の交流が大事だという御意見が相次ぎ、令和 5 年 3 月に台湾にて現地開催することで合意した。ただ、最新の台湾の入国条件を見ても台湾入国後 7 日間ホテルでの隔離措置が現在でも続けられており、台湾の細胞検査士会も企画をなかなか開始できない状況とこのことで、難しい状況が続いている。これについては情報が入り次第、また HP を通じ皆様方に周知をさせて頂きたい。
- ・続いて、今秋開催予定の第 21 回国際細胞学会 ICC について。2022 年 11 月 15 日～11 月 20 日、米国ボルチモアにて第 21 回国際細胞学会 ICC が開催予定である。中でも、日本の国際委員会が企画をして台湾・韓国両国の細胞検査士会を巻き込み、米国の ICC 事務局に

提案した企画が採用された。具体的には、細胞検査士の教育制度を取り上げたシンポジウムで、3か国における現状について比較・討議するシンポジウムを行う。開催日は、現地時間 11 月 19 日土曜日午前 8 時～10 時、日本時間の 11 月 19 日午後 10 時～11 月 20 日午前 0 時までのシンポジウムになる。日本からは現在国際委員を務めて頂いている九州保健福祉大学の宮本朋幸先生、韓国からは Sun Woo Jin 先生、台湾からは Mei-Ling Wu 先生の合計 3 名の先生方に御登壇頂く予定である。新型コロナウイルスの関係で海外との往来可能なマインドが形成されているとは言い難く、開催形式について米国の大会事務局も WEB を取り入れるのか否か、現在協議中との情報が入っている。開催形式については、今年の夏頃には決定予定のため、情報が入り次第、HP を通じ発信する。もし WEB 参加が可能となれば渡米しなくても国際的な最新の知見が聴講できるため、ぜひ皆様方の参加を御検討頂ければと考える。

#### 編集委員会 （委員長：遠藤 浩之）

- ・細胞検査士会会報 69 号を 8 月に、70 号を 12 月に発行した。都道府県の皆様をお願いしている、目玉企画の一つでもあるセル友・全国活動報告では、69 号は島根県、富山県の代表者の方々に、70 号では兵庫県、石川県の代表者の方々に原稿を執筆して頂いた。この場をお借りして、御礼申し上げる。また、胞検査士会会報 71 号を 7 月に発行すべく、現在作業を進めているところである。71 号セル友・全国活動報告では、鳥取県、福井県の代表者の方々に原稿執筆をお願いしているので、御協力の程、宜しく御礼申し上げます。現在、原稿収集と編集作業を行っているが、今回も盛り沢山の内容となっているので、皆様楽しみにしていただきたい。
- ・12 月の発刊号に同封していた細胞検査士賠償保険については、メディカルプランニングより新たなパンフレットを作成中のため 12 月に発行の 70 号に間に合わなかった。改めて 7 月発行の 71 号に入れる予定であるので、宜しく御礼申し上げます。

#### 精度保証委員会 （委員長：柿沼 廣邦）

- ・教育セミナーのセルフアセスメントの作成および細胞検査士養成ワークショップを以前より実施している。セルフアセスメントに関しては、学術委員会と共同で開催させて頂き、細胞検査士養成ワークショップに関しては、今回は 1 次対策レベルということで WEB にて開催させて頂いた。当初は 100 名程度を目指していたが、皆様方のお蔭で 300 名以上の御参加を頂き、盛大に開催することができた。皆様に御礼申し上げます。今年は出来れば鏡検実習も視野に入れて考えていきたいので、御協力の程、宜しく御礼申し上げます。

#### がん検診委員会 （委員長：田路 英作）

- ・コロナ禍における細胞診実態調査を昨年も行い、その結果を HP で、第 60 回日本臨床細

胞学会秋期大会では 1 回目と 2 回目のアンケート結果を解析して報告した。アンケートに御協力を頂いた皆様に、この場をお借りして御礼申し上げる。現在、第 3 回目の実施に向けて準備中のため、掲載されたら御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

都道府県代表者委員会（委員長：阿部 英二）

- ・都道府県代表者委員会では、毎月初めの連絡メールおよび臨時連絡メールを配信させて頂いている。代表の皆様には大変お忙しい中、御対応いただき誠に感謝申し上げます。今後も引き続きこのような形で都道府県代表者委員会を運営したいと考えているため、皆様の引き続きの御協力をお願い申し上げます。

3) 都道府県代表者から（報告、意見、質問等）

報告、意見、質問等なし。

### 3、その他

1) 都道府県新代表の紹介

1. 青森県代表 平田 留美
  2. 千葉県代表 須藤 一久
  3. 神奈川県代表 今井 宏樹
  4. 富山県代表 石黒 宗浩
  5. 三重県代表 金山 和樹
  6. 山口県代表 清水 勇輝
  7. 熊本県代表 田上 圭二
  8. 香川県代表 山内 豊子
- \*欠席： 栃木県代表 神蔵 慎一  
\*応答無：茨城県代表 石黒 和也

2) 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会開催県（宮城県）三浦 弘守 代表挨拶

この秋に仙台で開催されます学会について、ご案内させて頂く。第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会を 2022 年 11 月 5 日、6 日の 2 日間、東北大学災害研究所 災害産婦人科分野教授の伊藤会長のもと仙台サンプラザホテル、仙台ガーデンパレスに於いて開催する運びとなった。東北地域では、15 年ぶりの開催となる。本大会のメインテーマは細胞診と学際、将来への細胞診の展望や展開を様々な分野、方面から会員の皆様とともに共に考え、細胞診の発展に寄与する学会となりますよう伊藤会長を中心に東北全体で会員の皆様が満足して頂けるように準備を進めているところである。なお、開催方式についてはコロナ禍による社会情勢を踏まえ現地開催と WEB になるが、感染対策には十分配慮し安全を確保させて頂く。ちょうど森の都、仙台は季節的にも市内の木々も色づき始め、

学会の後は宮城の新米やお酒、食事等でも楽しんで頂けることと思う。そこで東北県代表として、各都道府県の皆様方にはぜひ地元の多くの細胞検査士の方々に学会の案内と、参加へのお声がけをして頂きたく心よりお願い申し上げます。勿論、皆様の御参加も心よりお待ち申し上げている。本日は、貴重な時間を頂き、阿部会長をはじめ代表者の皆様方に感謝申し上げます。

議事録作成者：田中 真理（都道府県代表者委員会 委員）  
水野 幸恵（都道府県代表者委員会 委員）  
阿部 英二（都道府県代表者委員会 委員長）